

2.11.25
12/7

上り免れようとするのだ。せんじつめると値上げを拒否したのだ。
何故首を切ったか？ 会社はこの数額運動中四名の従業員を工場内で喧嘩したと云ふ理由で解雇した。知か工場内の仲間喧嘩は行株の上よりあることだし東京ベルベットのにも有り、あることだ。それか今解雇の令になつたのだ。之は債銀値上運動を圧迫崩しの手段なのだ。えして今度は会社は頑とした態度を色々圧迫干渉を始めだ。吉岡専務は組合自己の虫に合はない打つぶしてく札を」と最近放言して居る。
真に止むを得ざる罷業よく働りて作業能率を上げる労働組合が何で氣に合はないのだ。えして之を大計働いたわらう之を値上げして呉れと云ふのか悪いと不考にも在迎したりつまらぬ言辯を振へて解雇したりするとは何んたぬことだ。私達は自らに会社に反省を求めたが暴政加はる一方なので遂に十月廿七日罷業を以て對應したのだ。

村長諸君！！ 何ぞか私達の真実を守つてくれ。罷業中は木の工場に村の者は一人も入らない様にして呉れ。私達の正義に加勢して呉れ。

東京ベルベットの争議 闘
日本労働組合同盟 南葛支部
関東労働組合 南葛支部
木田村 荒江 五〇



労社 第三九一六号

昭和二年十一月廿一日

警視總監 宮田 光 雄



内務大臣 鈴木 喜三郎 殿
社会局長 官 殿
大阪神奈川兵庫愛知
千葉埼玉各府縣知事 殿

東京ベルベットの株式會社労働争議ニ関スル件(第一報)

一、會社の臨時工を常備工に昇格せしめ下平常工に復シタル爲態度頗ル強硬ニシテ目下交渉に應ズル意思ナシ

要旨